

第1回福知山市ベビーファースト宣言起草委員会議 概要報告

【日時】令和6年11月21日(木)午後1時30分～午後3時00分

【場所】機能訓練室(ハピネスふくちやま2階)

【出席】委員 9人、事務局 5人、傍聴 2人

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 委員紹介

5 委員長選出

→ 門野委員が委員長に就任

6 議事

(1)本会議の目的

(2)アンケート結果概要

(3)子育てにやさしいまちづくりのために広げていきたい取組み

【意見交換内容】

① 子育てにやさしい雰囲気づくりについて

WE ラブ赤ちゃんプロジェクト

- ・「泣いてもかましまへん」というやさしい雰囲気が産後のお母さんや、子連れのお父さんにはありがたいので、広がって欲しい。
- ・市内の店舗や施設でステッカーが貼られているお店をあまり見ない。または気が付かない。
- ・貼ってあるお店などは、子ども連れにも寛容な姿勢であるということからも、利用が進むのでは。やはり子育て中はそういうお店に行きたい。

- ・ 貼ってあるお店が分かったりするといい。知らないから行く場所が固定されがちにもなる。
- ・ このプロジェクトを作られた方の思いなどが届くように、二次元コードをステッカーに付けてもいいのではないかな。

その他

- ・ カフェでも頼まれれば、ミルク用のお湯を準備したり、哺乳瓶も洗ってくれたりするところもある。
- ・ 「こども110番のいえ」を福知山では、あまり見ない。

② 子育てにかかる情報発信について

- ・ もっと子育てにかかる情報が欲しい。文字情報だけでなく、写真などでイメージができるといい。
- ・ 公の情報だけでなく、民間の情報についても発信されている(一括で見ることができる)と嬉しい。
- ・ 市のホームページは、情報が分かりにくかったり、探しにくかったりする。

③ 子育て世代がつながる、楽しむことができる場について

つながりの場について

- ・ 地域内で孤立しないように子育て中の方同士がつながるきっかけが欲しい。
- ・ 転入者にとっては、友達がいない、頼れる親族もいないという状況になりやすい。
- ・ 小学生までの間は、なかなか交流する機会がない。就学すると PTA や子ども会でつながりができたりする。
- ・ すくすくひろば等の地域子育て支援拠点のように話を聞いてもらえる場所、大人もほっとできる場所がありがたい。
- ・ まずは、話を聞いてもらえることが第一であり、専門職の人でなくてもいい。気軽に話せる間柄をつくる必要がある。
- ・ おじいちゃんやおばあちゃんなど、あたたかく見守ってくれる人がそういった場の支援者としていてくれるといい。赤ちゃんから高齢者までが大切にされている空気が地域でも広がる。

- ・ 情報の収集が難しい場合もあるので、自治会単位での支援が必要になってくる。

子ども会活動について

- ・ 「めんどろ」という負のイメージが先行しており、負担でしかないと感じている保護者も多い。
- ・ 子ども会に入らない人が増え、活動がないような地域もある。
- ・ 昔のような雰囲気ではないので、時代に合わせた変化も大切。まずは、地域が楽しいと思える活動ができるのがよい。

④ 子どもの遊び場等について

- ・ 小中学生が外で遊んでいる姿を見ることが減っている。
- ・ 年齢に応じた遊び場があるのが望ましい。三段池公園のわんぱく広場も大きい子どもが走り回っていると危ないと感じる。
- ・ 児童科学館とか、児童館の体育館とか室内で遊べるが、小さい子と一緒にだと危ないこともある。
- ・ 子どもが室内で体を動かして遊ぶことができる場所(例:あやっこひろば等)が市内にはない。ただ、企業がそういった施設をつくり、運営するというのは、事業として成立しないと考える。
- ・ 丹波市の人には外(自然)で遊ぶのがメイン。福知山市のように雨だから困っているという話はきかない。
- ・ 雨の日は、児童館に行ったりしていた。公民館や児童館が利便性良く活用できるといいと思う。ただ、エアコンの整備が必要。

7 その他

8 閉会